

京都大学附属図書館創立100周年記念公開展示会 お伽草子—物語の記憶—

期間：1999年11月24日(水)～12月7日(火)

会場：京都大学附属図書館展示ホール(3階)

今年は京都大学附属図書館創立100周年にあたります。

そこで附属図書館恒例の秋の公開展示会を、その記念事業の一つとして位置づけ、所蔵資料の中から「お伽草子」を展示します。

お伽草子は、室町時代から江戸初期にかけてつくられた物語草子であり、赤や黄、緑などで美しく彩色された絵付きのものも多く、鉢かづき、物くさ太郎、一寸法師、浦嶋太郎、酒吞童子などの物語は、童話や絵本、テレビアニメなどで繰り返し親しまれ、日本人共通のなつかしい物語の記憶を形作っています。

開館100周年にあたり、この物語の玉手箱を開け、教職員や学生、市民のみならず、子どもたちにも広く見てもらい、日本人の読書生活を振り返るよすがともなればと思います。

I N D E X

和算書と電子図書館	1
中国古典籍のブックデザイン	3
大英図書館と日本コレクション(講演要旨)	5
附属図書館100周年:「静脩」総目次を読む 1	7
ネットワーク時代の大学図書館:アメリカ大規模図書館見学記 2	8
図書館の動き	12
法学部図書室紹介:シリーズ「京都大学図書室巡り」	13
教官寄贈図書一覧	14
蔵書統計(平成11年3月31日現在)	15
京都大学附属図書館創立100周年記念公開展示会	16

編集後記

今年は附属図書館創立100周年にあたり、秋には記念式典、展示会が企画されており、静脩も記念特別号を発行します。常に、親しみやく、読んで図書館や資料に興味をもてるような館報を目指したいと考えています。(G)